

## 令和6年度 信学会松本南幼稚園 「自己評価および園関係者評価」

### 1. 園の教育目標

つながろう！「ともだち」「あそび」「まなび」 ～ 一人ひとりの夢中を見つけよう ～

### 2. 本年度の重点目標

- (1) じぶんっていいな ともだちっていいな
- (2) あそびをふかめよう
- (3) つたえあおう

### 3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

### 4. 園関係者評価委員(モニター)からの評価

- 幼児教育は環境で育てていく。コーナー保育で子どもたちがあそび込んでいる姿がよい。
- 小学校は「できる、わかる」が目標だが、幼稚園ではその根っこを育てていくことが大切。子どもたちの気持ちを大切にしている点が良い。
- あそびの場を作ることで、それを起点として子どもたちが自分たちで新しいあそびを創り出していくことの面白さを感じている。そのエネルギーがあり素晴らしい。
- 週1回のお部屋のドキュメンテーションは素晴らしい。活動の事実だけでなく、担任が活動や遊具でねらいとしていることも伝わるようにするとよい。
- 年長さんの大根売りがあった。保護者も買えてよかった。現金を扱うことが減っている現代において、子どもたちが実際にお金を扱うよい機会になった。
- 手紙交換を堂々とできるように、年長組で「子どもポスト」を設置してくれてよかった。他学年も設置を。
- 学年縦割りの交流が良い。
- 友だちとうまくいかないことがあったが、その後も先生は声をかけてくれている。ありがたい。
- 園の企業努力・ブラッシュアップ、すごい。ありがたい。先生方の負担にならないように。
- 今後も変化を生み出していってほしい。

- ・子どもが給食の話をよくしており「ママ、おいしかったからうちでも作って」と言われる。インスタで給食の写真を送ってほしい。レシピをもらって公開できるものは公開していてもよいのでは。
  - ・PTAの年間の活動を見える化することで、「役員をやってもいいかな」と思う人が増えるのでは。
  - ・新しい遊具ができればインスタなどで紹介をしてもらいたい。
  - ・どんぐり教室の保護者でインスタやホームページを知らない人がいる。広めていきたい。
  - ・子ども向けの性教育があってもよいのでは。自分の身体は自分で守る、など。
  - ・人数に限りはあるが、自由あそびの際にボードゲームをするのもよいのでは。
  - ・園バスが道路事情が何かの理由で違うルートで来た。レーザーキッズで知らせてほしい。
  - ・子ども用のトイレが臭い。
  - ・夏休み中の弁当を注文できないか。
  - ・お部屋にある本をすべて読んでしまった。他のクラスと交換することはできないか。
- 多くのご意見ご要望をいただいた。関係する各係と相談をして改善していきたい。

## 5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

### □保護者アンケートの結果から（令和7年1月実施 回答率70%）

- ・「お子さんは安心して楽しく園に通えていますか」・・・そう思う、およそそう思う 98.4%
- ・「園目標は達成されていますか」・・・そう思う、およそそう思う 99.4%
- ・入園を決めた理由 ..... 最も多い回答「園の教育方針や保育に期待できる」  
全体的には安心して信頼して預けていただけているようである。

### □職員による園自己評価アンケートの結果から（令和7年1月実施）

全体的にはどの項目においても「およそ達成されている」と言えそうである。特に昨年度と比べて「園の情報公開」についての評価が向上している。本年度から週1回ドキュメンテーションとして各お部屋の1週間の活動の様子、子どもたちの表情などを写真とコメントで配信することを開始した。保護者にも好評であり、職員も今まで以上に日々子どもたちの様子を伝えられているというよさを感じている。モニター会でご示唆いただいたように、担任の活動のねらいなどもうまく反映させていきたい。

本年度は子どもたち一人ひとりが夢中になってあそび込める環境作りに力を入れてきた。自由あそび中の園庭や室内のアート部屋に様々なコーナーを職員みんなでアイデアを出し合って作り、ひとり一人の興味関心に応じてあそび込める環境を作ってきたことが「教育整備環境」についての評価向上につながったと考える。園目標の具現に迫ることができた。

「重点目標達成のための取り組み」に関して評価が下がっているが、昨年度と比べると0.1ポイントの下降であり、大きく評価が下がっているとは言えないと考える。しかしさらに向上させていくために、今まで以上に3つの重点目標を常に意識して取り組んでいくことが大切である。

### □全体を通して

本年度は「大規模園のよさを生かしたダイナミックな活動」と「一人ひとりの興味関心に応じてあそび込めるコーナー保育の活動」、それぞれの活動の充実を目指して取り組んできた。子どもたちの興味関心の幅を広げるためにみんなで蚕を飼い、できた繭玉を使った制作活動にもチャレンジをした。これらの活動には多くの先生方の発想や意見が取り入れられている。来年度も職員みんなでアイデアを出し合い、前述の二つの柱の活動をブラッシュアップさせていきたい。特に来年度は運動会や音楽会などの大きな行事の内容について見直しを行い、前年度までの継続ではなく、今日の前にいる子どもたちにとって力になるような行事のあり方を考えていく。また来年度から幼稚園型認定こども園となることから、新しい体制作りにも力を入れていきたい。